

# 成年後見制度に関する事業を開始します

## ～久留米市成年後見センター オープン～

市社会福祉協議会では、「成年後見制度に関する事業」を始めます。成年後見制度とは、認知症や障害などにより判断能力が不十分になった人が、不利益を被ることのないように本人を保護・支援する制度です。

### 久留米市 成年後見センター

平成26年10月1日より、久留米市から委託を受け、「久留米市成年後見センター」を運営します。センター職員と弁護士が成年後見制度に関する相談に応じます。相談は無料です。

### 法人後見

市社会福祉協議会は、法人として後見事業に取り組みます。家庭裁判所の指名を受け、成年後見人等になった場合は、財産管理や訪問などにより、本人が安心して生活を送れるよう支援します。

このような時は  
お気軽にご相談ください



- ・成年後見制度って、どんな制度なの？
- ・制度を利用したい。手続きのやり方は？
- ・認知症になった時、私の財産はどうなるの？



### 久留米市 成年後見センター



#### 【問合わせ】

### 久留米市成年後見センター

住所 久留米市長門石1丁目1番34号（市総合福祉センター内）

☎ (0942) 30・2732 FAX (0942) 34・3090

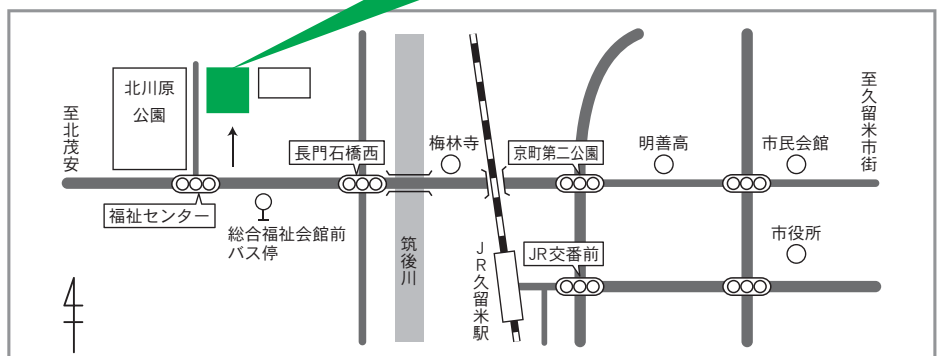
メール [k-syakyo@kumin.ne.jp](mailto:k-syakyo@kumin.ne.jp)

相談時間 月曜～金曜 8時30分～17時15分  
（土日・祝日、年末年始はお休みです。）

※弁護士相談は予約が必要です。

#### ○バスでお越しの場合

- ・西鉄バス40番（長門石經由目達原・佐賀行き）「総合福祉会館前」下車
- ・西鉄久留米バスセンター…[6]のりばより乗車
- ・JR久留米駅…駅前[3]のりばより乗車



# ～広げよう こころのバリアフリー～

## 市社会福祉協議会は学校、企業等の 福祉体験学習のお手伝いをします

こんな事業にも  
赤い羽根共同募金の  
配分金が使われて  
いるんだよ



先月、全盲の女子生徒が、白杖を使用して点字ブロッコの上を通行中に、足を蹴られる事件が発生しました。その1か月ほど前には、盲導犬が鋭利な刃物で刺されるなど、視覚障害者が被害にあう事件が相次いで発生しました。

このことは、障害者の社会参加についての課題と考えられます。  
市社会福祉協議会では、「福祉教育」を軸とした「心のバリアフリー」を推進しています。

### 福祉教育読本を 配布

市社会福祉協議会では、福祉教育読本『ともに生きる』を希望する小学校に配布しています。この『ともに生きる』は、福岡県内の児童が日々の生活の中で体



験した様々な出来事（学校、家庭、地域での体験など）がまとめられた冊子で、ともに生きることの大切さや人権の尊さが書かれています。

市社会福祉協議会では、この冊子が多くの人に読まれ、一人ひとりを大切にす社会を築いていくために役立てられるよう願っています。

### 高齢者疑似体験セット 等を貸出

「高齢者疑似体験セット」等の福祉教材を市内学校をはじめ、民間企業での研修で有効活用していただけるよう無料で貸し出しています。

「高齢者疑似体験セット」には、視界ゴーグル、特殊ジェル手袋、おもりスリッパなどが揃っており、それらを装着することで、加齢に伴う身体機能の低下などを全身で体感できるようになっています。

高齢者との接し方や、身体の不自由な人の生活環境を考える学習に役立ちます。

#### 『ともに生きる』【一部抜粋】

わたしのクラスのさっちゃん

今日は身体測定の日です。次はわたしたち5年生の番です。

保健室の廊下にならんで順番を待っていると、突然、1年生の男の子たちが、階段をドタドタと上がって来て、わたしたちを見るなり、「きゃあ」「おかしい」「こわあい」と、大声で笑いながら逃げて行きました。「なんだろう」と思っていると、1年生の数はさらに増え、「すかん、気持ち悪い」と言って逃げて行くのです。

ふと、となりを見てみると、身体の不自由なさっちゃんが、ゆりちゃんのかげにかくれるようにして1年生をにらみつけています。わたしはハッとしました。1年生は、さっちゃんのことをみんなで笑いに来ていたのです。「こら！」と言おうとしましたが、口に出す前に1年生はもう逃げて行ってしまいました。さっちゃんはもちろん、ゆりちゃんも、愛ちゃんも、直美さんもみんなしょんぼりしています。わたしも、とってもいやな気持ちになりました。（中略）

わたしは、身体測定の時、さっちゃんの悲しそうな顔のことを日記に書いて、次の日の朝の会に出しました。そして、「わたしは、昨日の身体測定の時、とっても悲しかったです。1年生にすぐに注意できなかったし、どうしたらいいか話し合ってください」と、みんなに言いました。意見を言う時はドキドキしていました。「わたしも、とっても悔しかった」と、すぐに愛ちゃんも言うてくれました。（以下、省略）



バリアフリー体験学習（西日本鉄道側）

#### 【問合わせ】

市社会福祉協議会  
地域福祉課

☎ 0942・34・3035(代)